

新市街地形成ゾーンの計画的整備（松前町）

【取組概要】

商業系の用途地域の面積が少なく、消費の約半数が町外へ流出しているほか、各種サービス施設も不足している状態を解消するため、周辺の公共施設と一体となって、人々が集い、触れ合い、楽しむことができる場所として新市街地の整備を行い、まちの活性化・税収増を図る。

人口 31,069人

担当部署 総務課 企画政策係

【取組みの効果】

整備前に比べ、約4億円の固定資産税が増加するとともに、地域の商工業者が大型商業施設と共存共栄するために、地元商工会の有志が発起人となった産直店舗を敷地の一角に設立し、地域ブランドの創出による地域力強化が図られている。



完成した大型商業施設

【他団体へのアドバイス】

計画地が都市計画区域内の市街化調整区域であったため、開発手法についての協議が難航し、最終的には都市計画の変更を余儀なくされ、着手までにかかなりの時間を要する等の苦労があった。

【創意・工夫した点】

本計画については、都市計画、農業、商業、建築、土木等の幅広い内容についての協議・検討が必要であったため、各課を横断した推進室を設立し、様々な課題に対して迅速に対応できるようにした。



地元業者による産直店舗